

児童を育み地域をつなぐ豊川小学校木質化計画

テーマ1 過去2校の木質化実施内容を踏まえたうえで、学校木質化事業の更なる可能性が感じられる具体的な提案について

豊川小学校を木質化を通じて、より良い教育環境の整備と地域の活動拠点としての整備を行います。過去2校の木質化実施内容を踏まえたうえで、豊川小学校ならではの木質化内容をご提案いたします。

1 魅力的な学びの場、生活の場としての普通教室

児童が一番長い時間を過ごす普通教室を木質化することで効果的な木質化を行います。

天井の**梁型**と**照明カバー**の木質化を行い、授業中常に目に入る位置に木質化を行います。

木の断熱性を活かし、**窓下の腰壁**の木質化を行うことで温熱環境を向上させます。

また、**教室と廊下の間仕切り壁**を既設建具の骨組みを残して撤去して、木の**板壁パネル**を骨組みに嵌め込むことで、**普通教室と廊下の双方に対して木質化**を行います。



児童の活動拠点となる普通教室

2 他学級の児童との交流の場となる廊下

休み時間の活動の場となる廊下も効果的な木質化の対象と考えます。

木質化した**ニッチ**を設け、**児童が安心できる居場所や学習形態の多様化に対応した場**をつくります。

西棟は片廊下の幅を活かし、教室との間の**板壁パネル**(作品の**展示台**や**ベンチ**付属)を設置して、交流の場として充実させます。

東棟は中廊下特有の暗さを緩和するため、**教室越しに採光(ガラス框戸の間仕切り、展示ケースとなる間仕切り)**を確保します。また、柱の角への**コーナーガード**と**掲示機能**を兼ねた**柱パネル**の設置を行います。



児童の交流の場所となる廊下

3 地域との情報交流・活動の場となる地域ラウンジ

地域コミュニティの活動が活性化するために、拠点となる地域ラウンジを設けます。**地域の方が気軽に訪れられ、かつ放課後児童クラブや放課後子供教室のある東棟の昇降口の一部**とします。

部屋として区切るのではなく**腰高程度の収納ボックスで緩やかに領域をつくり**ます。地域の方との交流の中で**児童の社会性が育まれます**。

床は傘立て用の穴や段差を考慮し、すのこによる小上がりとして**縁側のような空間**をつくります。校門のあるグラウンドに面するので、**防犯対策**としての効果が期待できます。



地域の活動拠点となる地域ラウンジ



テーマ2 児童が長く木のぬくもりを効果的に感じることができる提案について

児童の活動拠点である普通教室と休み時間の交流の場となる廊下や毎日利用する階段などを重点的に木質化をします。

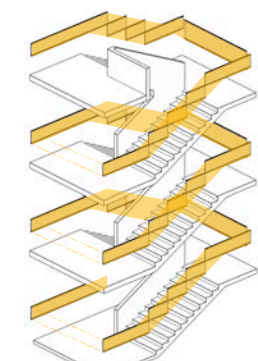


木質化の難易度の高い天井は、梁や既存の照明を木でカバーする施工性の良いつくりとします。壁面の木質化により、寄りかかりたくなる壁面とします。



西棟と東棟の結節点で折れ曲がる部分は、幅が広く児童が自然に集う場所であるため、木質化されたあたたかい居場所になります。

グラウンド側に大きな開口を持つ明るく開放的な階段スペースをギャラリー空間として活かします。パネル化された掲示板パネルを目線の高さに合わせて設置します。上り下りが楽しくなる階段ギャラリーとします。



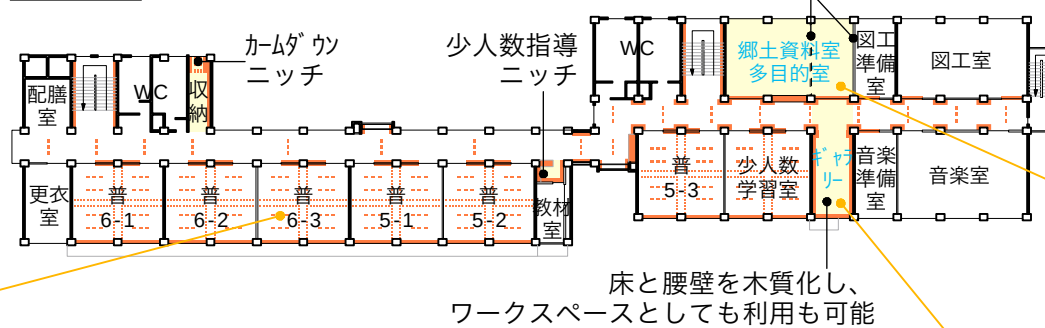
4層連なる掲示板



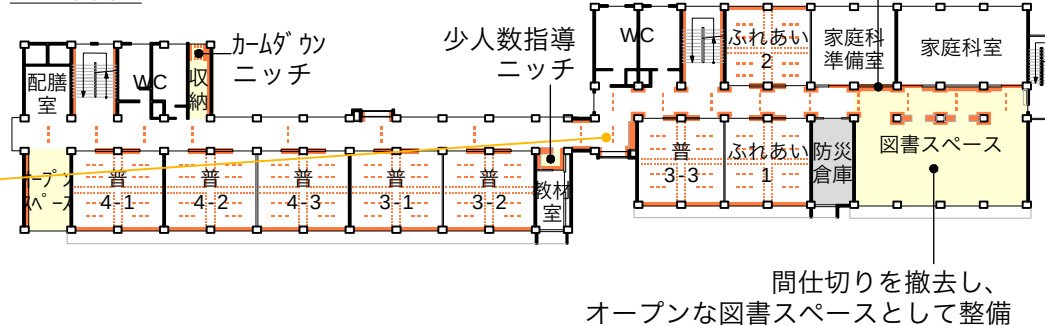
教材と児童のための収納スペースの奥に木に囲まれた小さなカムダウンスペースとなるニッチをつくりまします。



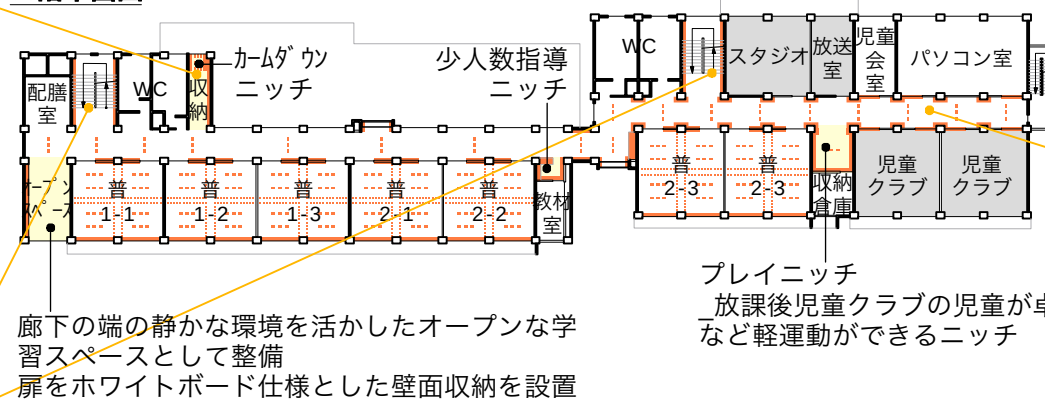
4階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図



テーマ3 地域コミュニティ組織の活動拠点として、地域と学校が連携・協働できる機能的で効率のよい空間利用の提案について

地域とともにある学校として、木質化されたぬくもりのある地域活動スペースを充実させます。



PTA会議室・スクールボランティア室として活用されていた部屋を拡張して大空間とし、ワークショップなど地域活動が行いやすい部屋を確保します。また現在廊下に置いている郷土資料を展示できるように設えます。また、対面の増築使用の廊下も一体的に使えるように可動域の大きい3枚建引戸に建具を変更します。



スクールボランティアの方々が良い環境で活動出来るよう、中廊下の環境を良くします。ガラス框戸で教室越しの採光をし、柱パネルで明るくぬくもりのある空間にします。



地域の方々が気軽に立ち寄り交流できる地域ラウンジです。少人数での打合せやイベントスペースとしての利用も想定します。立った状態で視線の抜ける高さの棚で緩やかに仕切ること児童にも開かれたスペースとします。床や壁はすのこを使い施工性を高めます。独立柱には端材でつくる寄せ木パネルで仕上げ、小田原の伝統を感じさせる空間とします。

テーマ1	過去2校の木質化実施内容を踏まえたうえで、学校木質化事業の更なる可能性が感じられる具体的な提案
テーマ2	児童が長く木にぬくもりを効果的に感じることができる提案
テーマ3	地域コミュニティ組織の活動拠点として、地域と学校が連携・協働できる機能的で効率のよい空間利用の提案
テーマ4	事業継続を踏まえたコスト縮減や工期短縮の提案
テーマ5	より多くの支給材を効果的かつ明瞭に使用し、歩留まりを向上させた提案